

社会から信頼される企業をめざして

グローバル市場からの適切な調達を遵守し、 パートナーとの関係構築を推進しています。

調達基本方針

KOKUSAI ELECTRICグループは、お客様に価値を認めていただき喜ばれる製品を提供するために、生産・供給に必要な資材・役務などを、グローバルな市場からCSRを遵守して適切な品質・納期・価格で調達いたします。

また、関係法令の遵守・環境配慮にも重点を置き、公正かつオープンな取引を行い、適正な機密情報管理をすることで、お取引先様とのパートナー関係の維持・強化を推進します。

CSR調達の取り組み

ビジネスがグローバルに進展する中、サプライチェーンにおける調達リスクが経営問題につながる可能性が増大しています。当社ではRBA*行動規範に基づいたCSRサプライチェーンマネジメントを推進強化することとし、サプライヤとCSR意識の共有を図っています。

お取引先様の選定は資材の品質・納期・価格、技術開発力などに加え、人権・労働慣行・倫理・法令遵守といった社会的責任を果たしているかについても確認して適正な手続きによって行います。

※RBA … Responsible Business Alliance: 2004年に結成された電子業界の連合体。米国を中心に小売、自動車、玩具なども加わり、世界120社が参加。結成当初から社会的責任の遂行を主な目的とし、サプライヤも含めた行動規範を策定、普及推進をしています。

パートナーシップの強化

当社は、お取引先様との相互信頼関係に基づいてパートナーとしての関係づくりを推進しています。

コロナ禍の中でもWEBミーティングの形式でBPM (Business Partner Meeting)、賀詞交歓の場を開催し、公正な取引関係を維持し、情報共有によるパートナーシップ強化に努めています。

1月に開催する賀詞交歓会では当社の中長期の事業方針をお取引先様の幹部と共有するとともに、優秀パートナーを表彰します。毎年2回開催されるBPMでは、当社事業方針・動向説明および、調達・生産・品質・CSR各々の取組状況説明を行うことで、積極的なコミュニケーションの浸透により、お取引先様と当社の双方にメリットのある「Win-Win」の関係を深めていきます。

グローバル化の推進

グローバル調達施策として、海外の生産拠点と調達戦略を共有し、当社の調達スタッフが地産地消型グローバル調達と現地スタッフ育成・強化を推進するため連携を強化しています。今後も韓国・米国の拠点を中心に緊密に連携し、グローバル調達一体運営の取り組みを強化していきます。

調達BCPの展開

お取引先様が大規模地震などの自然災害によって被災した場合、当社やお取引先様の事業活動だけでなく社会に大きなインパクトを与える可能性があります。そのインパクトを最小限にとどめるため、調達事業継続計画 (Business Continuity Plan (BCP): 複数購買の推進・代替品の検討・調達品の生産拠点のデータベース化・標準化など)を策定・整備しています。

紛争鉱物問題への対応

当社はコンゴ民主共和国 (DRC) および周辺諸国から産出されるスズ、タンタル、タングステン、金(あわせて3TG)、およびコバルト(紛争鉱物)について、当社サプライチェーンに対して人権侵害を行う武装集団を利することのない調達活動を行うことで社会的責任を果たすよう、お取引先様と取り組みを強化してまいります。

各国の法と倫理、国連に規定された人権を尊重し、世界から尊敬される清廉な企業文化をつくります。

KOKUSAI ELECTRICグループ人権方針

KOKUSAI ELECTRICグループは、安全・快適で活力ある、持続可能な社会の実現をめざし、技術と対話で価値を創造し未来を切り拓く中で、人権が尊重される社会の実現を支援していきます。その前提として、KOKUSAI ELECTRIC（グループ会社含む、以下同様）は人権尊重の責任を果たす努力をしております。

人権尊重に対する責任

KOKUSAI ELECTRICは、人権を侵害しないこと、また、事業や取引上の人権に対する負の影響に対応することで、人権尊重の責任を果たすことをめざします。私たちは「国際人権章典」および国際労働機関（ILO）の「労働の基本原則および権利に関する宣言」に記された人権を、最低限のものとして理解しています。人権尊重の責任は、株式会社KOKUSAI ELECTRICおよびその連結グループ会社のすべての役員と従業員に適用します。

更に、ビジネスパートナーやその他の関係者による人権への負の影響が、KOKUSAI ELECTRICの事業、製品またはサービスと直接つながっている場合、KOKUSAI ELECTRICは、これらのパートナーに対しても、人権を尊重し、侵害しないよう求めていきます。また、そうした当該者が人権を尊重していない場合には、KOKUSAI ELECTRICは適切に対処していきます。

KOKUSAI ELECTRICの価値観・方針との関係

KOKUSAI ELECTRICは、私たちが社会の一構成員であり、

人権が尊重される環境づくりに貢献できると信じています。人権尊重の責任を果たすことは、企業として活動上不可欠であり、すべての企業に当然期待されるべきことと理解しています。この人権方針は、KOKUSAI ELECTRICの企業理念、経営理念および行動基準に基づいて、この責任をここに表現するものであります。

人権尊重の責任の遂行

KOKUSAI ELECTRICは国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」の実行を通じて、人権尊重の責任を果たすことを誓います。このために、KOKUSAI ELECTRICは潜在的または実際の人権への影響を特定して評価することやリスクを防止または軽減するための措置を講じていきます。また、KOKUSAI ELECTRICが人権に対する負の影響を引き起こした、あるいはこれに関与したことが明らかになった場合、社内外のしかるべき手続きを通じて、その救済に取り組みます。KOKUSAI ELECTRICは事業活動を行うそれぞれの地域において、その国の国内法および規制を遵守いたします。また、国際的に認められた人権と各国法の間に矛盾がある場合においては、KOKUSAI ELECTRICは、国際的な人権の原則を尊重するための方法を追求していきます。

KOKUSAI ELECTRICは、本方針が株式会社KOKUSAI ELECTRICおよびそのグループ会社全ての活動に組み込まれるよう、適切な教育および能力開発を行っていきます。また、人権に対する潜在的および実際の影響に対する措置について、KOKUSAI ELECTRICは、関連する外部ステークホルダーと対話と協議を行っていきます。

事業展開における人権配慮

会社の買収や新規設立の際は、人権尊重の方針を含む当社の経営理念、行動基準およびグループ人権方針につき、早期に現地幹部要員との共有を図るとともに、リスクを評価し対応する体制を整えています。

人権啓発研修の展開

毎年の新入社員研修において、同和問題や人種・民族・国籍・性別・年齢・障がいの有無などによる差別の発生を防止する人権啓発に加え、すべての人の人権を尊重する研修を実施しています。

労働における基本的権利の尊重

当社グループでは、各国・各地域の法令や労働慣習を踏まえ、国連グローバル・コンパクトの原則として示される

従業員の基本的な権利を尊重し、経営幹部と従業員の真実かつ建設的な話し合いを通じて、お互いの問題をよりよく理解し、共同で課題解決に努めています。

会社の資産や人の安全を確保する際の人権配慮

お客様や従業員の安全を確保する業務、会社の備品や資産の損失を防ぐ業務を担当する要員は、そうした業務遂行の過程で意図せずして人権に抵触する対応をする可能性があるため、業務の担当者全員が人権への配慮を行い、適切な対応をするよう徹底しています。

国際的行動規範への準拠

人権、労働、安全衛生などについて規定した国際的な行動規範RBA（レスポンシブル・ビジネス・アライアンス）に準拠し、国際社会において人権尊重の責任を果たすことをめざしています。

高性能化と多様化、マーケットの拡大を見据えた 激しい技術革新の要請に応える研究開発体制を構築

研究開発方針

当社では世界トップレベルの成膜技術を活かした半導体製造装置を開発しています。自社の成膜要素技術に加え、各研究機関、原料メーカー、デバイスメーカーとの共同開発を通じ、微細化による物理限界の突破をめざしています。世界のトップデバイスメーカーに採用されている当社の成膜技術は、半導体の高機能化、高性能化を支えています。当社の成膜技術を活用した半導体は、世の中の電子機器に搭載され、より安全で快適な生活に貢献しています。

研究開発体制

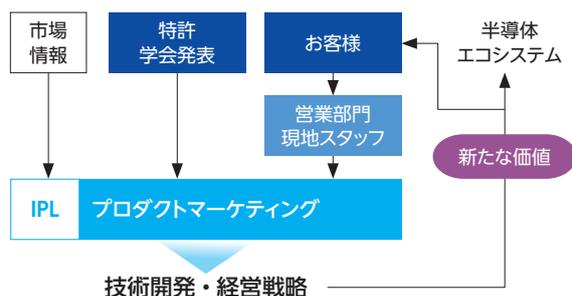
半導体デバイス開発は世界各国で進められており、当社も国内外に研究機関を持ち、一気通貫した開発体制を敷いています。機械・電気・熱・流体・物理・化学、AI、機械学習といった幅広い分野の技術が求められるため、この開発エリアには、それぞれの専門家が結集しています。自社の技術に加え、国内外のコンソーシアムや大学および開発パートナーと連携しながら、高難易度の課題をクリアし続ける体制をめざしています。

体制図



プロダクトマーケティング

当社の製品を磨き、お客様にとって高い価値を提供するため、営業部門や現地スタッフと連携してお客様の声を吸い上げて、社内に還流する活動を行っています。また、学会情報や特許、市場情報を総合的に俯瞰・分析するIPランドスケープ(Intellectual Property Landscape)という取り組みを通じて、新たな技術開発や経営戦略に繋がる提案を推進し、全社で新たな価値創造をめざしています。



知的財産マネジメント

当社では、当社の技術および製品の競争力強化の観点から事業運営において知的財産に関する各種の取り組みが重要であると認識しております。そのため、製品、製品のデザイン、製造プロセスおよびソフトウェア等を組み合わせた特許権、意匠権、商標権およびその他の知的財産権を日本国および外国において取得するなどして、当社の技術および製品の知的財産権による保護に積極的に取り組んでおり、グローバル特許出願の増強にも努めております。

グローバル出願率

93.1%

(2018年)

特許査定率

95.1%

(2018年:日本)

「お客様の期待」を超える装置を開発・生産し、「お客様の利益」に貢献することでお客様満足度No.1企業をめざす。

品質へのこだわり

当社は、お客様の立場から考え、行動するという精神に基づいて、お客様第一のものづくりに徹し、安全・品質および環境に配慮した製品・サービスを提供することで、お客様と社会の満足と信頼を獲得することをめざしています。

不具合が発生した際には、技術的な直接原因と、その背景に潜む仕組みの問題（動機的原因）まで徹底的に洗い出し、再発防止に取り組んでいます。また、その結果を他の製品などに水平展開する、未然防止活動も積極的に推進しています。

さらに、社員一人一人の品質スキル向上のための教育プログラムの作成や、品質意識の醸成をめざした全社的な活動の実施、グループ会社やビジネスパートナーを含めた、品質保証に携わる人財の交流や活動支援にも積極的に取り組み、製品・サービスのさらなる品質向上に努めています。

2004年からは、ワールドワイドにお客様への製品・サービスに関するアンケート形式のお客様満足度調査を毎年実施し、集計と分析した結果を社内にてフィードバックして改善を図ることで、お客様満足度の向上を推進しています。

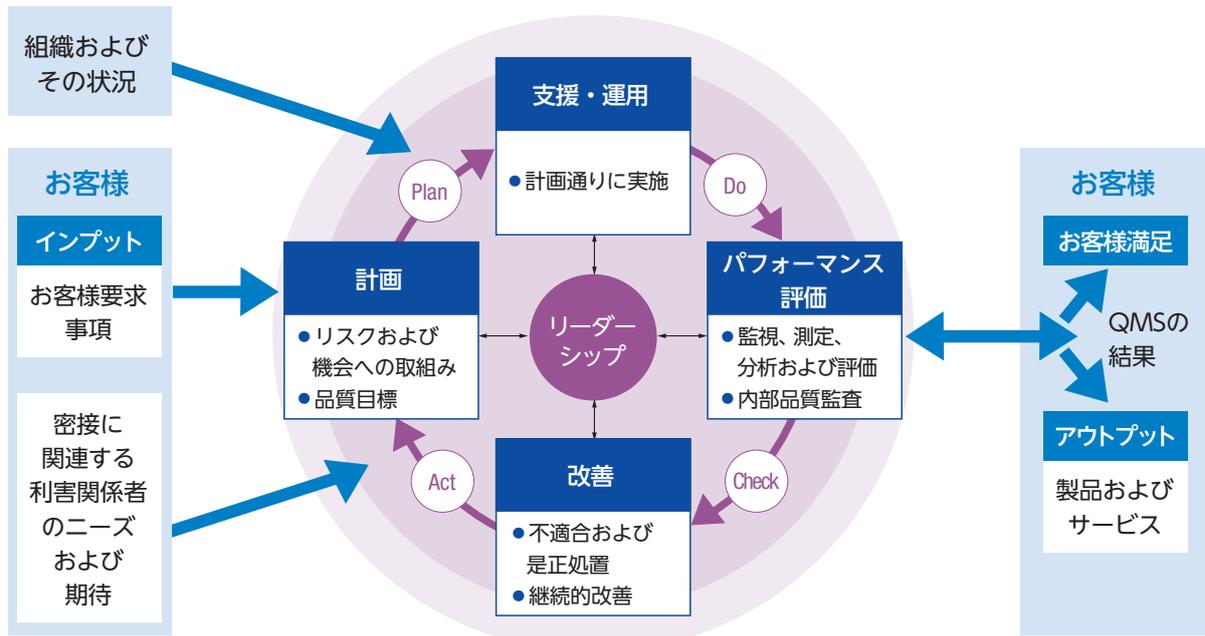
品質マネジメントシステムの構築

当社グループの各生産拠点では、ISO9001(品質マネジメントシステム) 認証を取得し、プロセスアプローチにおけるPDCAサイクルを核とした品質マネジメントシステムを構築し、継続的な改善を図っています。また、作業品質向上に向けた取り組みとして、D-FMEA*1に加えP-FMEA*2の運用強化も推進しています。これらの取り組みを通じて、さまざまなお客様のご要求に適合した品質の製品・サービスを提供しています。

*1 D-FMEA: 設計故障モード影響解析。製品を構成する部品、ユニット毎に単純化された故障モードを挙げ、これらの故障モードが製品に及ぼす影響を予想することにより、潜在的な事故・故障を設計段階で予測・抽出する手法

*2 P-FMEA: 工程故障モード影響解析。製造工程における各故障(作業ミス)モードの抽出と影響度評価を行い、未然防止策の検討から工程改善を行う手法

品質マネジメントシステム(QMS)



品質問題への取り組み

お客様の立場から考え、行動する考えに基づく一連の反省、再発防止活動として技術的な直接的原因と、そのもととなっていた動機的原因を洗い出し、再発防止に取り組むとともに、類似製品なども検証し、事故の未然防止に努めています。

グローバル・ネットワーク強化への取り組み

海外グループ会社も含めた品質保証に携わる人財の交流や活動支援を図り、製品・サービスのさらなる品質向上に努めています。

サービスサポート

当社では、国内外のサービスネットワークから、現地訪問によるオンサイト対応にプラスして、リモート環境(スマートグラスを使用した遠隔保守など)でのオンラインサポートを通じて、装置の安定稼働の支援を行っています。また、装置を永く使用していただく延命化改造や機能向上のリノベーション改造提案、定期保守点検、部品の修理やオーバーホール品目の拡大と現地対応化も推進しています。こうしたサービスサポートにより、製品のライフサイクルの中で廃棄物の低減、原材料の使用量の低減、CO₂の削減に貢献しています。

トレーニングセンター

当社では、世界中の6つの主要な地域に、トレーニングセンターを開設し、安全かつ効率の良い装置の運用が可能となるための、さまざまなトレーニングをお客様に提供しています。

近年は新型コロナウイルスの世界的大流行により人の移動が制限される中で、効果的なトレーニングを継続して提供するために、オンライン・トレーニングを開始しました。オンライン・トレーニングでは、制限された環境下でも最大限の効果を発揮できるように、遠隔地にいる受講者に装置システムの操作やメンテナンス方法について、装置の映像や遠隔オペレーション技術を用いて教育しています。

今後も、お客様が安心・安全・効果的に当社装置を使用していただけるよう、品質の高いトレーニングの提供に努めていきます。

トピックス

インテルコーポレーションよりPQS賞を受賞

インテルコーポレーションから2020年度プリファード・クオリティ・サプライヤ(PQS)賞を受賞しました。インテルコーポレーショングローバルサプライチェーン責任者のランディア タッカー氏は、「試練に見舞われたこの2020年において、KOKUSAI ELECTRICの取り組みはインテルの成功に不可欠でした。」「彼らは、インテルサプライチェーンの重点領域で優れたサービスを提供し、大幅に改善目標を達成しました。この受賞は、彼らの長年の努力や継続的な改善、そして真に卓越したパフォーマンスを表すものです。」と述べています。

PQS賞は、インテルサプライヤ・コンテニューアス・クオリティ・インプルーブメント(SCQI)プログラムの成功を意味するもので、中でも PQS賞はインテルのサプライヤに与えられる2番目に高い栄誉であり、全世界数千社に及ぶサプライヤのうち、特にパフォーマンスの高い26社のみが受賞しました。

※Intel、インテル、Intelロゴは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。



VLSIリサーチお客様満足度調査で24年連続入賞

2021年7月 VLSIリサーチ社によるお客様満足度調査で24年連続入賞で「10BEST」、および「THE BEST」を受賞しました。さらに高い目標を掲げチャレンジして参ります。



※各賞の公式ロゴマークは、VLSI Research Inc.の登録商標もしくは商標です。